

## vCenter UI を介した PowerChute 仮想アプライアンスのデプロイ

1. vCenter UI を介して仮想アプライアンスを展開する場合、展開前に仮想アプライアンスの特定の設定を指定できます。

- **DNS:** カンマで区切られた DNS サーバーのホスト名または IP アドレス。
- **ゲートウェイ:** ゲートウェイ IP アドレス。
- **IP:** 仮想アプライアンスの静的 IP アドレス。
- **ネットマスク:** 仮想アプライアンスのネットマスク、例 : 255.255.255.0
- **ホスト名:** 仮想アプライアンスのホスト名。
- **ルートパスワード:** ルートユーザーのパスワード。



展開前にルートパスワードを設定すると、仮想アプライアンスが VMware の脆弱性にさらされる可能性があります。

**重要:** PowerChute 仮想アプライアンスの構成と展開の前に、**VMware Security Advisory 0013.1** セクション **3c** および **3d** を確認し、それに応じて vSphere と vCenter をアップデートしてください。

影響を受ける vCenter/vSphere バージョンを使用している場合は、仮想アプライアンスの展開後にルートパスワードを変更することをお勧めします。詳細については、APC Web サイトの「**PowerChute インストールガイド**」を参照してください。

- **SSH が有効:** 仮想アプライアンスで SSH を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。  
注意: ログファイルを収集するため、またはアプライアンスの展開スクリプト化するために必要でない限り、アプライアンスへの SSH アクセスを無効にしてください。
- **タイムゾーン:** 仮想アプライアンスのタイムゾーン。この値は、[IANA tz データベース](#) 形式 (例: 「ヨーロッパ / ダブリン」) でなければなりません、例えば「ヨーロッパ / ダブリン」

OVF テンプレートのデプロイ

テンプレートのカスタマイズ  
このソフトウェアソリューションのデプロイプロパティをカスタマイズします。

1 OVF テンプレートの選択  
2 名前とフォルダの選択  
3 コンピューティングリソース  
4 詳細の確認  
5 使用許諾契約書  
6 ストレージの選択  
7 ネットワークの選択  
8 テンプレートのカスタマイズ  
9 既定の確認

分類されていません	8 settings
DNS	Comma separated list of DNS hostnames or IP addresses
Gateway	Gateway IP address
IP	Static IP Address
Netmask	Netmask
Hostname	Hostname
Root Password	Root password
	パスワード
	パスワードの確認
SSH enabled	SSH service enabled
	<input type="checkbox"/>
Time Zone	Time Zone (IANA tz database identifier)

CANCEL BACK NEXT

注：このスクリーンショットは、vSphere Web Client 6.7 から取得されています。

2. 選択したオプションが表示されます。確認して[終了]をクリックしてインストールを開始します。仮想アプライアンスのデプロイにかかる時間は、ネットワークスピードによって異なります。

The screenshot shows the 'Settings Confirmation' (設定の確認) screen in the VMware vSphere Web Client. On the left, a progress list shows steps 1 through 7, with step 7 'Settings Confirmation' (設定の確認) highlighted. The main area contains a table of configuration details and a warning message.

製品	不明
仮想マシン名	PCNS_4_2_vapp
ディスク	system.vmdk
データストア	nsfs1
プロビジョニングタイプ	シン
ネットワークのマッピング	Network 1: VM Network
ゲスト OS 名	CentOS5.11 JP x64
プロパティ	クリックして展開

この仮想マシンがデプロイされている間は、ブラウザを更新しないでください。

Buttons at the bottom: 戻る, 次へ, 完了, キャンセル

3. インストールが正常に完了すると、PowerChute Network Shutdown Virtual Appliance がインベントリに仮想マシンとして表示されます。
4. PowerChute 仮想マシンの電源を入れます。



ルートパスワード、タイムゾーンなどが手順 1 で提供された場合、以下のステップ 5 は不要です。

5. 機器の初回起動時に[Virtual Appliance First-Time Configuration (仮想機器の初回構成)]ウィザードが開きます。ルートユーザー用のパスワードを作成するオプションを選びます。

注：ルートユーザーにはデフォルトのパスワードはありません。CentOSの初期セットアップ、または最初のログイン時にルートパスワードを入力する必要があります。



仮想アプライアンスの導入時に、CentOS エンド ユーザーライセンス契約が自動的に受理されます。

注：初回構成ウィザードを使用するときは、キーボードの「c」を押すと、画面間を移動できます。「q」を押して終了する場合、構成の変更は適用されず破棄されます。

```
[ 1.407729] sd 0:0:0:0: [sda] Assuming drive cache: write through
[ 3.043673] piix4_smbus 0000:00:07.3: SMBus Host Controller not enabled!
=====
=====
Initial setup of CentOS Linux 7 (Core)

1) [!] License information          2) [x] Language settings
   (License not accepted)         (Japanese (Japan))
3) [x] Time settings              4) [x] Network configuration
   (Etc/UTC timezone)             (Wired (ens32) connected)
5) [x] Root password              6) [ ] User creation
   (Password is set.)             (No user will be created)
Please make your choice from above ['q' to quit | 'c' to continue |
'r' to refresh]: _
```

注: ネットワーキングプロパティ (手順 1) を指定しなかった場合、デフォルトでは最初に接続したネットワークアダプターが有効になり、DHCP IP アドレスはネットワークによって割り当てられます。

複数のネットワークアダプターが仮想マシンに追加された場合、最初に接続したアダプターのみが有効になります。別のネットワークアダプターを有効にするには、仮想マシンにログインして標準の CentOS ネットワーク管理ツールを使用してネットワークを設定します。

OVF 環境設定は、ネットワークマネージャにより、リブートしても保持されます。[OVF 環境トランスポート] が有効な場合、OVF 環境設定はスタートアップのたびに適用されます。これを防ぐには、[OVF 環境トランスポート] を無効にします。

6. PowerChute Network Shutdown のユーザーインターフェースにアクセスするため、その URL を調べます。[ コンソール ] タブをクリックするか、または左側のウィンドで VM を右クリックして [Open Console] を選択します。

[Welcome] 画面が表示されます。PowerChute の新しいインストール URL が、「To configure PowerChute Network Shutdown, browse to:」というメッセージの次に表示されます。

```
PowerChute Network Shutdown for VMware
はじめて サマ リソース割り当て パフォーマンス タスクおよびイベント アラーム コンソール 権限 マップ ストレージ ムー
Welcome to PowerChute Network Shutdown 4.2 for VMware
Please complete the PowerChute Setup wizard to ensure that your VMware Hosts and Virtual Machines
are protected.
To configure PowerChute Network Shutdown using the Setup Wizard, browse to:
https://10.216.252.161:6547
localhost login:
```

7. [https://<IP\\_Address>:6547](https://<IP_Address>:6547) にアクセスして PowerChute セットアップウィザードを起動します。
8. **注意:** PowerChute 仮想アプライアンスでは、SNMP はデフォルトで無効になっています。SNMP 経由で PowerChute にアクセスできるようにするには、インストール後に Web ユーザーインターフェースで SNMP 設定を有効にする必要があります。  
**注意:** 静的 IP アドレスを再設定するには、ログインして CentOS ネットワーク管理ツールを使用します。



仮想アプライアンスにインストールされている CentOS ライブラリを更新して最新のセキュリティアップデートを適用することを強く推奨します。